

【給食協会賞】みんなから笑顔がこぼれでた思い出

の給食

三河安城小学校 神島 由依

私が小学校の給食で一番大好きでみんなの笑顔を引き出したわかめごはんが思い出に残つています。一年生のころ私は好きかきらいかがけつこうはげしかつたです。私はその日、当ぜんのように残そうかなと思つてました。でも、みんながわかめごはんが出るとかいてあるメニュー表を見てみんなは、とてもうれしそうな顔をしていたので私は残すことやめてチャレンジをしてみようと思いました。そこで一口パクツと食べました。私は、わかめのことをみそしるにいれるとおいしいものだと思つていたので、ごはんとわかめは合わないと思いました。でも、なぜだかごはんとわかめがどちらとも一番おいしく感じました。ごはんの味がこいわけでもなく、わかれの味もこいわけでもなく、うすいわけでもなく、わかれの味もこいわけでもなかつたのです。一年生のころ私は思わず、「予想していた味と全然ちがう。むしろ無茶くちゃおいしい。」とつぶやきました。そして、とてもおいしかつたのでお母さんにたのんでつくつてもらいました。それでは、わくわくしながらそのつくつてもらつたわかめの味が少しこいかなと思いました。気のせいかなと思つぱり思つてから食べました。でもやつぱり思つた。

味がこいなと感じました。そして、わかめごはんの日が来ました。家でつくつてもらつた味を思い出しながらわかめごはんを食べました。そして、家でつくつてもらつたものとは比べ物にならないほどおいしいと思いました。

「なんで給食のわかめごはんはおいしいのに家のわかめごはんはそんなにおいしくないのかな。」と六年の夏休みのときふと、なんでだろうと思つたので親に聞いてみました。そしたら、「友達といつしょに食べるからじゃない。」と言われました。たしかに、一年生のころは給食の時間、話すことが禁止になつていただけれど、昼放課に友達と一緒に友達と

「おいしかつたよね。」と話すのが私の中では、給食のおしゃべりだと感じていたので親が言つていることもあつてゐるなと思いました。そんな、みんなから笑顔がこぼれでたり、おいしかつた話をした思い出のわかめごはんが私は大好きです。